

# 国頭地区大型魚礁調査

## 1 辺土名沖大型魚礁調査

1. 設置年度……昭和53年度(昭和53年12月竣工)
2. 設置個数……1,400個
3. 設置場所……水深62~65m

a 設置場所……赤丸埼より真方位334° 4.150m

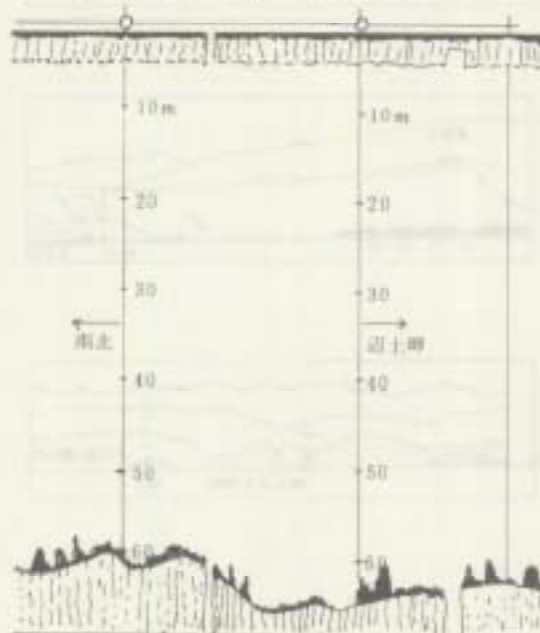
Lat 26°-46'-36"N Long 128°-08'-12"E

b 山立て方法……



## 4 魚礁の設置状況

a 魚礁設置断面(魚探記録)





① 辺土と宇喜の間谷

↑上は中継塔



② 伊地から与那にかけて



③ 辺土名

頂上↑↑ビルと体育館  
(辺土北小学校)



④ 桃原海浜

上の白い建物は養蚕場と下の山の先が一般



⑤ ↑桃原海浜

↑赤丸崎

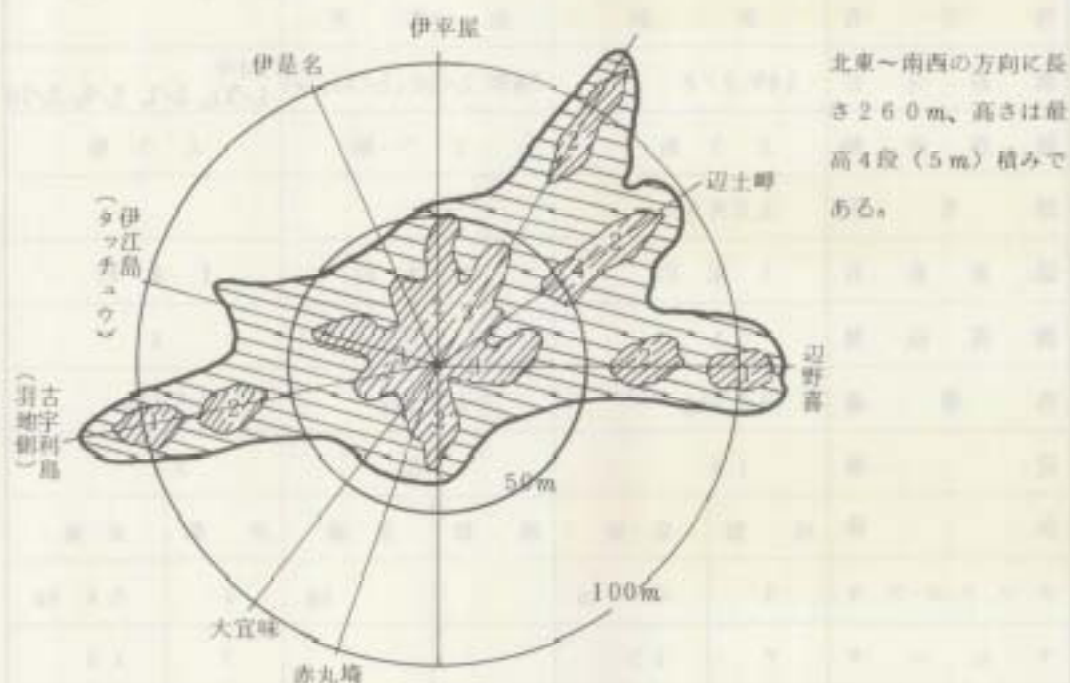


⑥ 赤丸崎南

↑隠れ岩の山の頂上が一般



b 魚礁配置形態模式



5 魚礁効果確認調査

設置後1ヶ月～2ヶ月ではフエフキダイ類、ハタ類が多く群集し、特にハタ類の増加がみられる。

群集性の大きい、タカサゴ、ロクセンフエダイが釣獲されていることから魚礁効果は増大するものと思われる。

胃内容物はアミ、カニ、貝(二枚貝の殻)、砂質がみられ、ヒレナガカンパチからはタカサゴの骨片が2尾分みられる。



- 1…イソフエフキ
- 2…アカハタ
- 3…モンガラの一様
- 4…タカサゴヒメジ

調査年度	53年度				合計	
	水試		漁業者			
調査月日	54年2/8		54年2/10、1/31、2/1		54年 1/31、2/1、2/8、2/10	
調査船舶	よう船		よう船		よう船	
調査員	久貝外3人					
調査漁具	1本釣		1本釣		1本釣	
調査回数	1		3		4	
漁獲量	4.10kg		21.23kg		25.1kg	
尾数	19		15		34	
魚種	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量
イソフエフキ	1	0.4 kg		kg	1	0.4 kg
アカハタ	7	1.3			7	1.3
ロクセンフエダイ	4	0.9			4	0.9
タカサゴ	3	0.59			3	0.6
タカサゴヒメジ	2	0.27	1	0.25	3	0.5
キツネペラ	1	0.4			1	0.4
ヒレナガカンパチ			1	5.4	1	5.4
スジアラ			6	9.8	6	9.8
ヒレグロペラ			1	0.4	1	0.4
タマメイチ			1	3.0	1	3.0
イトヒキキントキ			2	0.79	2	0.8
タキベラ			1	0.64	1	0.6
メイチダイ			1	0.48	1	0.5
コバンヒメジ			1	0.54	1	0.5
モンガラの種類	1	0.24				

## II 赤丸埼沖大型魚礁調査

1. 設置年度……昭和53年度(竣工 昭和54年3月)

2. 設置個数……993個

3. 設置場所……水深42m

a 設置場所……赤丸埼より真方位270° 6,200m

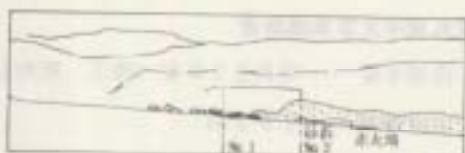
Lat 26°-44'-24"N Long 128°-06'-06"E

b 山立て方法





(1) 赤丸城から辺土名 ↑ 山をて 部落をのぞむ



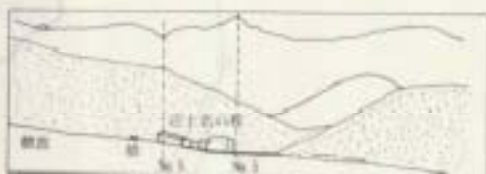
(2) 赤丸城南端 ↑ 南端の上の山のてんがりが一線



(3) 謝名城 ↑ 岩(海岸の)



(4) 辺土名高校 ↑



(5) 大宜味部落付近 ↑



(6) 塩屋方面 ↑ ↑



(7) 古宇利島東側 ↑ この先は津久井入口の地と海岸を 示す上が一線



(8) 古宇利島西側 ↑

